

第8回腫瘍病理セミナー

北陸がんプロFD講演会



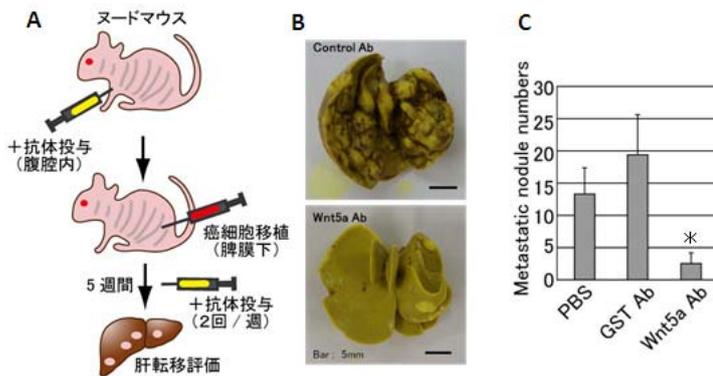
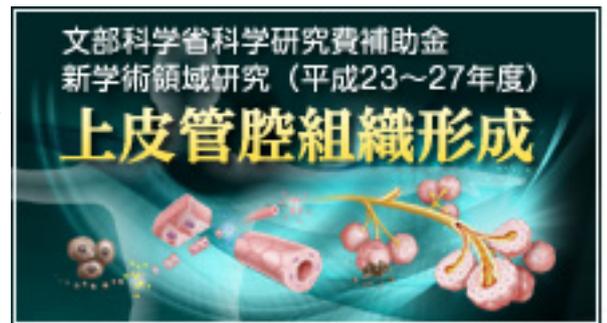
大阪大学医学系研究科 生化学 分子生物学講座
分子病態生化学 教授

菊池 章

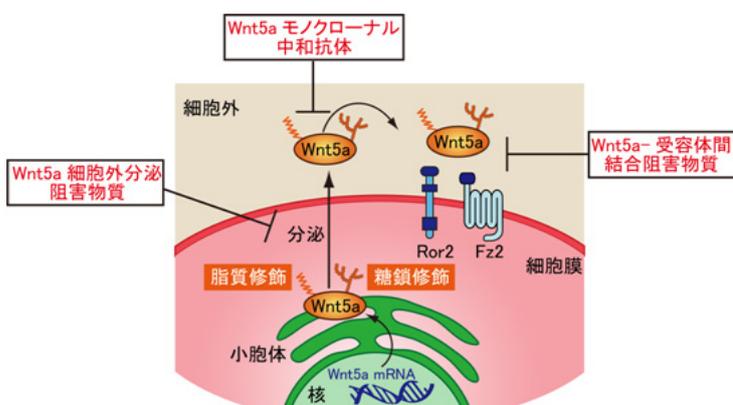
Wnt5a シグナルの異常による がんの悪性化

菊池先生は、神戸大学医学部を1982年に卒業、内科医として勤務後、同大生化学木第一講座・高井義美教授の元で研究に邁進し、94年に広島大学大学院教授、2009年から現所属にてWntシグナルと細胞機能制御とその異常による病態解析を行われています。

2010年からは新学術領域「上皮管腔組織形成」の領域代表も務められ、生体により近い、3次元における生化学的・細胞生物学アプローチを用いて「Tubulology」という新たな研究分野を立ち上げていらっしゃいます。



Wntの詳細な分子機構の解明だけでなく、臨床検体を用いて、胃癌や前立腺癌でWntの高発現による悪性化する症例があることや予後との相関も明らかにし、特異的抗体によるWntの分子標的治療の可能性も示されています。本セミナーではこれらの知見を中心にご紹介頂きます。たくさんのご来聴をお待ちしています。



日時：2月19日（火）
17時から
金沢医科大学病院
本館4階 C41 講議室

主催：病理学I 清川 内線 3611